

第1学年音楽科学習指導案

指導者 日川小学校 行田 玲子

1. 題材名

きょくのきぶんをかんじてえんそうしよう

2. 題材の目標

- ・歌ったり体を動かしたりしながら、拍の流れを感じることができるようにする。
- ・リズムの違いに気づいたり、拍の流れにのって簡単なリズムを演奏したりすることができるようにする。

3. 身につけさせたい音楽の力

- ・拍の流れにのって、体を動かしたり歌ったりしながら表現していく力
- ・簡単なリズムを演奏したりリズムの違いに気づいたりしながら表現する力
- ・楽曲の気分を感じて思いを持って演奏する力

4. 題材設定の意図

(1) 題材について

本題材は、学習指導要領の第1学年および第2学年の目標(2)「基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気づくようにする」を受け、主に学習指導要領のA表現(2)のア「範奏を聴いたり、リズム譜を見たりして演奏すること」及び、イ「楽曲の気分を感じ取り、思いをもって演奏すること」を実現するための題材である。

この題材は、前の題材で学習した拍の流れにのって、基本的なリズムパターンを楽しみながら表現することに重点をおいて設定している。拍の流れやリズムに対する感覚、表現の技能を身につけるために、歌うこと、聴くこと、体を使って表現することなど、多彩な活動を体験できるようにしている。

ここでは、子どもたちの日常的な動作や遊びを通して、最も基本的なリズムを表現することから始めて、よりまとまりのリズムや、拍を分割することによって生じるタタを含むリズムまで、段階的に学習を進めている。リズムの違いやまとまりを感じ取って、拍の流れやリズムに対する感覚を楽しみながら育てる力をつけていきたい。

(2) 本題材で位置づける [共通事項]

ア(ア)	リズム 速度	4分音符、4分休符と8分音符で構成された簡単なリズム 歌詞の表すイメージに合わせて速さを工夫
ア(イ)	反復	2小節ずつで構成されたリズムの反復
イ	音符、休符など	

5. 教材名及び教材について

「げんこつやまのたぬきさん」 わらべ歌

子供向けのTV番組でもよく放送される、広く知られたわらべ歌である。幼稚園や保育園のお遊戯などで取り上げられることも多

く、その知名度から、低学年における体の動きを伴った学習活動と容易に結びつけやすい教材である。

「しろくまのジェンカ」 平井 多美子 日本語詞 ケン ウォール 作曲
映画やテレビなどを中心に活躍しているスウェーデンの作曲家ケンウォールの作品。ジェンカとは、フィンランドで生まれたフォークダンスで、その踊りのステップの様子から「ハニーホップ」とも呼ばれる。A-B-Aの三部形式。全曲はジェンカのリズムによって統一されている。

「いぶん いぶん いぶん」 村野 四郎 日本語詞 ボヘミア民謡
原曲は、「Summ summ summ Bienchen (いぶん いぶん いぶん みつち)」というタイトルのボヘミア民謡。ボヘミアとは、現在のチェコ共和国北西部に当たり、地理的にドイツ文化の影響を強く受けた地域である。a4+b4+c4の三部形式で、aとbの対比が鮮明である。

6. 児童の実態 男子16名 女子17名 計33名

音楽の授業に関わっては、身体表現をしながら歌ったり手遊び歌を歌ったりすることが大好きである。また、音楽に合わせて手拍子を打ったり「さんぽ」の曲に合わせて行進したりすることも楽しんで行っている。1学期に学習した「ぞうさんのさんぽ」では、ぞうさんのイメージに合わせてのっそりのっそりとゆっくり歩きながら歌ったり、「しろくまのジェンカ」では、ジェンカのおどりに合わせてテンポよく跳ねたりしながら歌ってきた。

本教材では、曲の感じに合わせて、速さや強弱などの共通事項をもとに変化をつけ、工夫しながら、拍の流れを感じ取らせていきたい。

7. 題材の評価規準

観点	ア、音楽への関心・意欲態度	イ、音楽的な感受や表現の工夫	ウ、表現の技能
歌唱			
楽器	○	○	○
創作			
鑑賞			

ア音楽への関心・意欲・態度	イ音楽表現の創意工夫	ウ音楽表現の技能
範唱や範奏、リズム視唱、言葉のリズムなどに興味を持ち、進んで聴いたり拍の流れにのって表現したりしようとする。	リズムの違いや言葉のやり取りのおもしろさを感じ取りながら、拍の流れに乗って表現の仕方を工夫している	範唱や範奏、伴奏などを聴いたりリズム譜を見たりして、拍の流れに乗って歌ったり楽器を演奏したりし

	はちの様子の違いを想像し、速度の違いに気を付けて演奏の仕方を工夫している。	ている。
--	---------------------------------------	------

8. 指導計画と評価計画（全5時間）

	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
1 ・ 2 し ろ く ま の シ エ ン カ	①聴いたり歌ったりして、 ・タン・ウン・タン・ウン・ タン・タン・タン・ウンの リズムを感じ取る。	・教科書の挿絵を参考にし て、白くまが仲良く踊って いる様子を思い浮かべなが ら聴くことができるように する。	範唱や範奏、リズム視 唱、葉のリズムなど に興味を持ち進んで 聴いたり拍の流れ にのって表現したり しようとしている。 【ア表情観察】
	②拍の流れにのって、タン・ ウン・タン・ウン・タン・ ウンのリズムを演奏する。	・リズム譜を掲示し、リズ ム唱をしたり、リズムを打 ったりしながら、「げんこ つやまのたぬきさん」のリ ズムとの違いに気づくよう にする。	拍の流れや楽曲の特 徴づけているリズム を感じ取り、手拍子を 打ったりステップを 踏んだりしながら楽 しく聴いている。 【ア行動観察】
3 ・ 4 。 ・ 5 ぶ ん ぶ ん ぶ ん	③歌ったりリズムを打ったり して、拍の流れを感じ取る 。	自由に体を動かしながら歌 うように促す。 リズム譜を示し、タタは、 タンを2つに分割したリズ ムであることに気づけるよ うにする。	リズム譜やリズムの フレーズに関心を持 ち、進んで聴いたり拍 の流れにのって表現 しようとしている。（ アウ表現観察・ 演奏観察）
	④歌詞のイメージをもとに、 音の速さ（表現を工夫して ）演奏する。 （本時）	演奏する速度を工夫するこ とにより、曲のイメージが 変わること気づけるよう にする。	拍の流れにのって歌 ったり、リズム譜を見 て手拍子でリズムを 演奏したりしている。 （ウ演奏聴取）
	⑤拍の流れにのって、曲の速 さを工夫して演奏し聴き合 う。	友だちの演奏と自分の演奏 の違いに気づくようにする 。	範唱や範奏、伴奏など を聴いたりリズム譜 を見たりして、拍の流 れに乗って歌ったり 楽器を演奏したりし ている（ウ演奏聴取）

9. 本時の学習

(1) 日時 平成26年 8月29日(金) 5校時

(2) 場所 1年教室

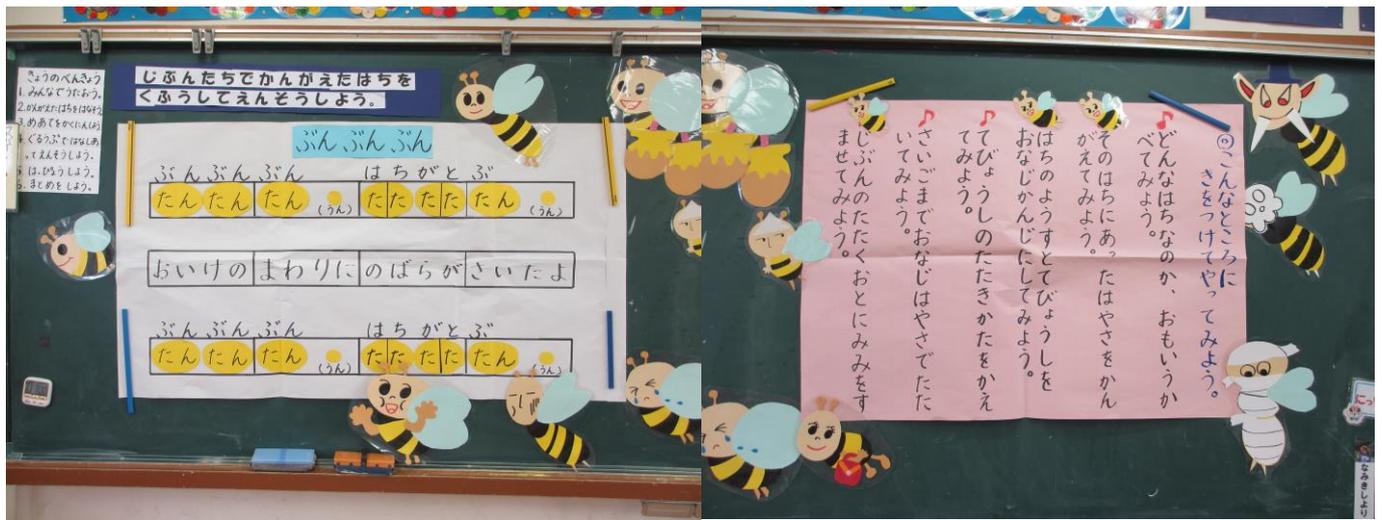
(3) 本時の目標

自分たちで考えたはちを工夫して演奏しよう。

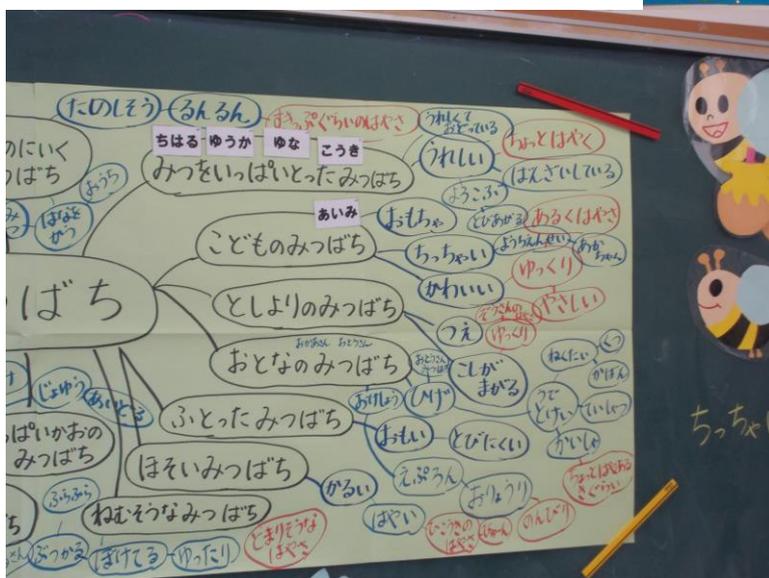
(4) 展開

	学習活動	指導上の留意点	教師の働きかけ・評価(◇) 言語活動(★)
導 入	1, 「げんこつやまのたぬき さん」「しろくまのジェンカ」 「ぶんぶんぶん」を歌ったり 身体表現したり、リズムを うったりする。	・ウォーミングアップと してげんこつ山のため きさんやしろくまのジ ェンカの歌をリズムを 打ちながら(手拍子を しながら)歌うことで 本時の活動につなげて いく。	・自由に身体を動かしながら 歌うようさせる。
展 開	2, 「ぶんぶんぶん」の曲を 自分たちの考えたはちにあ った演奏を話し合う。 例・はちみつをたくさ んとったみつばち はちみつがあんまりと れなかったはち げんきなはち よわったはち つかれたはち 太ったはち 年寄りのはち 赤ちゃんのはち など	・それぞれのはちにあっ たテンポをイメージし て速さを工夫する。 ・太ったはち(ゆっくり) ・せっかちななち(速く) ・明るいはち(やや速い) など	・自分たちの考えたはちにあ った演奏を話し合わせる。 ・同じグループの友だちに相 談させる。 ★「ゆっくり」と手拍子する ことにより、ふとったはちの 演奏が工夫できるができ る。 など、したこと・考え たことをワークシートにか いたものを友だちに伝え る。
	3, 本時のめあてを確認する。 自分たちで考えたはちを 工夫して演奏しよう。		・掲示物を見ながら確認させ る。
	4, イメージに合ったはちの		◇はちの様子の違いを想像し、 速度の違いに気を付けて演 奏の仕方を工夫している。

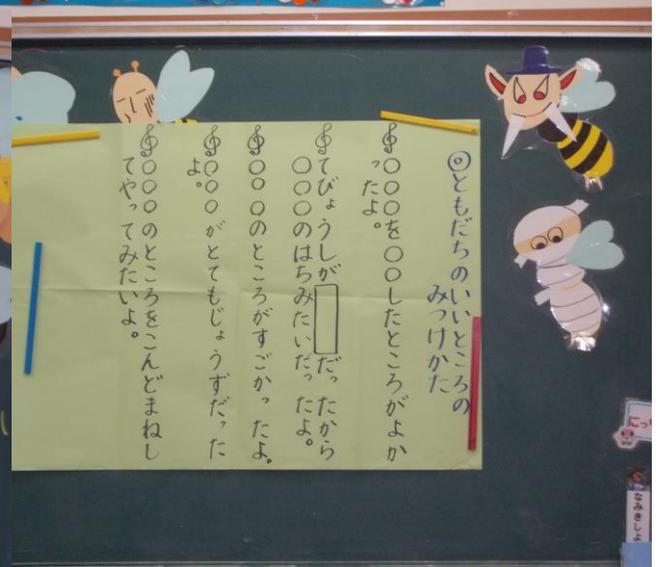
<p>ま と め</p>	<p>テンポに合わせて手拍子を工夫する。</p> <p>5, できあがったリズムを演奏して聴きあう。</p> <p>• 友だちの工夫で良いところを発表し合う</p> <p>6, 本時の学習の振り返りをし、次時の学習への見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • できあがったグループに演奏させる。 • 聴くグループは、自分のグループとの違いを見つける。 • 発表グループの工夫をみんなでまねしてみる。 	<p>(観察)</p> <p>◇ 友だちの演奏の良いところが見つけれれる。</p> <p>(観察)</p>
----------------------	--	---	---



◇こんなところに気をつけてやってみよう。



◇イメージマップ



◇友だちのいいところのみつけかた



◇グループに分かれての活動